

# TOP-Qとは

東京都大森医師会 認知症簡易チェック法  
Tokyo **O**mor **P**rimar **Q**uestionnaires for Dementia  
の頭文字から**TOP-Q**と命名されました。

## 特 徴

- ① 全行程 2～3分以内
- ② 自然な会話と素振りで“患者が身構えない問診”
- ③ 準備用具なくても、いつでもできる高い実用性

老年精神医学会誌 2014 Vol 6

## 構 成 2項目の問診 3つの観察点

- ① 時事計算・誕生日記憶
- ② 山口式キツネ・ハト模倣テスト (FP test)

参考観察3項目 : 振り向き徴候  
ハンド・バレー徴候  
回内・回外運動

この2項目3観察点を自然な問診の中でcheckするものです

## 特徴

全行程  
2～3分以内

自然な会話と素振りで  
“患者さんが身構えない問診”

準備用具がなくても、  
いつでも実施できる高い実用性  
(在宅医療でも活用可能)

## 内容と評価法

### 2項目の 問診

### ① 時事計算・誕生日記憶

※平成26年度 大田区認知症健診での実施例

- ・6年後の東京オリンピックの時は何歳？
- ・50年前の東京オリンピックの時は何歳？
- ・誕生日はいつ？

すべて正解のみ ○  
いずれか一つ失敗 ✕

### ② 山口式キツネ・ハト模倣テスト (FP test)

キツネ見本



ハト見本



失敗例



いずれか一つ失敗 ✕  
両方とも失敗 ✕✕

※写真は山口晴保教授HPより

### 判定

TOP-Qの得点 = ✕の個数の合計 正常0点～3点満点

TOP-Q 1点以下(✕数 1つ 又は 0個) : MCI or 正常

TOP-Q 2点以上(✕数 2個以上) : 認知症の可能性

### 3つの 観察点

・振り向き徴候

あり：認知症の可能性が強い

・ハンド・バレー徴候(両手水平掌上)

あり：血管性認知症の可能性

・回内・回外運動

異常：DLBのパーキンソンニズムである可能性

上記①②の問診実施中、  
付き添い者のほうを振り向いて  
「どうだったっけ？あなた答えてよ！」  
などという徴候。  
ADに特有の取り繕いの症状。